

一般社団法人日本循環器看護学会  
令和3年度 第3回WEB理事会 議事録

- 1 日 時 2022年4月14日(木) 18時00分から20時00分まで
- 2 場 所 日本循環器看護学会事務局(東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4F)
- 3 出席者 眞嶋 朋子、宮脇 郁子、池亀 俊美、宇都宮 明美、岡田 彩子、大江 理英、齊藤 奈緒、  
林 亜希子、前田 靖子、三浦 稚郁子、明神 哲也、山田 佐登美、若林 留美、  
鷺田 幸一(以上理事)  
坂本 明子(以上指名理事)  
瀬戸 奈津子(以上監事) 以上18名中16名出席(定足数8名)
- 欠席者 田村 綾子、吉田 俊子  
(理事及び監事は、全員ZOOMによるWEB出席)／事務局 横川は事務局にて出席

4 会議の目的事項並びに議事の経過の要領及び結果

以上のとおり定款第28条の定める定足数を満たす理事の出席があり、本理事会はWEB会議システムを用いて開催されるため、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いのできる状態となっていることが確認されたことで本理事会が成立したため、定刻、眞嶋理事長が開会を宣した。

第1号議案 令和3年度第2回理事会議事録の確認について

眞嶋理事長より、第5回理事会議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

第2号議案 新規入会・退会者の承認について

総務委員会齊藤委員長より、新規申請入会申請者16名、退会希望者10名について報告がなされ、異議なく承認された。なお、所属先不明の1名については、事務局より情報の登録を依頼する。

第3号議案 日本におけるたばこハームリダクション(THR)に関する協業の可否について

眞嶋理事長より、フィリップモリスのコンサルタント会社より、日本におけるたばこハームリダクションに関する協業の依頼について打診があったことが報告され、学会との関りについて検討されたが、協議の結果否認された。

第4号議案 看保連 R6改定に向けた意向調査票

診療報酬委員会の山田委員長より、看保連の24年度の年改定に向けた意向調査票の提示がなされた。これまで2回提出したテーマが認められていないが、診療報酬は看護師の意欲にもつながるものであり、今後は視点を変えるなど、テーマを吟味して提出することとなった。

また、今後の方針として、下記の提案がなされた。

- ・新たな調査などを行うのではなく、海外の論文を交える
- ・技術的なものではなく、チーム医療の「在り方」などに重きを置いて考える
- ・エビデンスデータを加える
- ・他学会との連携を取り、情報を深めたり、資料での可視化を強化する。

第5号議案 日本循環器看護学会 理事選挙について

選挙管理委員会宇都宮委員長より、2022年に開催する法人第5期理事選挙の実施について確認がなされた。

- (1)選挙人は日本循環器看護学会の代議員である。

- 令和3年度(2021年7月31日まで)の会費を完納している代議員  
但し、告示の直前までに納入した代議員
- (2)被選挙人は法人第4期選挙で選出された代議員、ただし監事の2名は除外する。  
令和3年度(2021年7月31日まで)の会費を完納している代議員  
但し、告示の直前までに納入した代議員  
また、理事を2期連続努めた代議員を除くことを、再確認した。
- (3)スケジュールは下記の通り。

WEB 選挙期間	令和4年6月1日～14日
開票	令和4年6月15日～21日
当選人に当選の通知と承諾確認	令和4年6月22日～7月12日
理事候補名簿作成完了	令和4年7月末

(報告事項)

1. 第19回学術集会準備状況報告

第19回学術集会瀬戸大会長より、2022年10月1日(土)～2日(日)開催される第19回学術集会について、下記の通り進捗状況が報告された。

ライブ配信無しのオンサイトでの開催とし、オンデマンド配信を2022年10月8日(土)～2023年1月10日(火)の日程で開催することが報告された。

【第19回学術集会】

(1)プログラムについて

全てのプログラムが確定し、全ての演者からの内諾を得た

(2)参加登録

2022年6月1日(水)～オンラインによる申込を開始予定。

前期登録期間:6月1日(水)～8月31日(水)

会員9,000円、非会員10,000円、学生3,000円

後期登録期間:9月1日(木)～11月30日(水)

会員10,000円、非会員11,000円、学生3,000円 \*大学院生は除く

※4月下旬より、プログラム入ポスター・チラシ郵送による広報活動を開始。

(3)演題募集

予定通り3月15日(火)～演題募集を開始。

役員の皆様には周囲の方々にご応募いただけるよう、お力添えをお願いしたい。

※抄録査読・一般演題座長依頼につきましては、学術集会の役割未定評議員、および選任査読委員52名にメールにて依頼済み。

(4)単位取得

日本糖尿病療養指導士(CDEJ)(認定更新<第1群>2単位)、心臓リハビリテーション指導士(認定更新5単位)、健康運動指導士および健康運動実践指導者(登録更新3単位)

(5)利益相反(COI)

演題発表のCOIについて、学術集会でページ <https://jacn2022.jp/coi.html> を作成。

※他学会は学会ホームページに COI ページがあり、学術集会時はそこにリンクすることが多い。本会も参考にしてはどうか。

(6)協賛募集(進捗状況)

■企業展示(締切 7/15):目標 1,749,000 △989,000

【企業展示基礎小間】165,000

TOTO株式会社、ヴェクソンインターナショナル株式会社、ミズノ株式会社、ネクサスエージェント

【企業展示書籍展示】100,000 ワニコ書店

合計:760,000

■共催セミナー(締切 6/3):目標 5,060,000 △3,410,000

【ランチョンセミナー LS-A】550,000(税込)ヴェクソンインターナショナル株式会社

【ランチョンセミナー LS-B】440,000(税込)株式会社ツムラ

【コーヒープレイク CBC-B】330,000(税込)第一三共株式会社、ノバルティス

合計:1,650,000

■プログラム小冊子広告掲載料(締切 7月30日):目標 737,000 △110,000

【広告掲載料(裏表紙)】¥165,000(税込)TOTO株式会社

【広告掲載料(裏表紙)】¥132,000(税込)関西医科大学大学院

【広告掲載料 後付】55,000(税込)株式会社医学書院、アステラス製薬株式会社、株式会社

照林社、株式会社フジネット、帝人ヘルスケア株式会社、アボットジャパン合同会社

合計:627,000

■ホームページバナー広告料(締切 9/16):目標¥176,000(達成)

【バナー広告】88,000(税込)ヴェクソンインターナショナル株式会社、株式会社メディカ出版

■会場スクリーン広告料(締切 9月16日):目標 264,000 △88,000

【スクリーン広告料】88,000(税込)株式会社メディカ出版、医療法人名古屋澄心会 名古屋

ハートセンター

合計:176,000

■寄付金(締切 9月30日):目標 1,000,000 △990,000

10,000 株式会社京阪工技社

(7)公益財団法人 循環器病研究振興財団看護助成発表会

研究申請者はコロナ禍の影響か、1名のみという状況のため、次年度、第20回学術集会開催へ発表会を見送りとなった。第20回大会では本年度見送りの発表者(1名)を含め、90分間での発表の要望を受けている。(19回大会、20回大会それぞれに10万円の寄付金有)

(8)第20回学術集会の広報

例年通り、閉会式でのプレゼン及びプログラム小冊子広告掲載を、第20回山田大会長へ依頼。

(9)学術集会抄録について

運営事務局に過去の学術集会の抄録を見たいとの問合せが入ることがある。初めて演題登録する方々が参考にしたいことが主な目的であるが、今後、過去の抄録を閲覧できる方法をご検討いただきたい。

## 2. 第20回学術集会準備状況報告

第20回学術集会山田大会長より、2023年に開催される第20回学術集会について、下記の通り進捗状況が報告された。

また、運営事務局については4社より提案を受けた結果インターグループへ決定したことが報告された。企業協賛が難しいことが予測されるため、赤字が出ない運営を行えるよう、選定企業との個人情報の取り扱いを含む契約書については、選定企業より情報の取り扱いを必要事項を盛り込んだ契約書を提示していただき、確認することとなった。

### 3. 「令和4年度(2022) 研究助成制度」 申請者状況の報告

総務委員会齊藤委員長より、令和4年度の研究助成について、申請のあった2件について審査を開始し、次回6月の理事会で結果の審議を諮ることが報告された。

### 4. ACNAPについて

学術委員会海外交流担当の大江理事より、ACNAPが実施する国際調査について報告がなされた。本会の会員向けに一斉メール配信にてアンケート調査を実施することとなる。また、3月上旬にACNAPのHP上で公開している本会の英語版プレゼンテーション資料についても報告がなされた。なお、学術委員会の海外交流担当チームは、本年の学術集会での交流集会をはじめ、積極的な国際交流に取り組む方向性について報告された。

### 5. 社員学会を対象とした人材育成と活用の実態調査

総務委員会齊藤委員長より、JANAの社員学会を対象とした人材育成と活用の実態調査依頼について報告がなされた。この調査は、各社員学会に所属する会員で、学会側が認識できている人材を今後どのように活用していくかを目的としたものであり、本会もこの調査に回答することが報告された。

### 6. 学会HPのリニューアルについて

広報委員会鷺田委員長より、現在進めている学会HPのリニューアルについて、制作会社を3者から2社に絞り、今後、2社より追加提案を受け、各社とのWEBによるヒアリングを経て、次回理事会で選定企業を決定する予定であることが報告された。

### 7. 日本学術会議への申請について

学術委員会三浦委員長より、約600名の会員について、現在調査中であることが報告された。

### 8. 学術集会抄録集の閲覧について

総務委員会齊藤委員長より、第19回学術集会報告事項でも検討事項として挙げられた、過去の学術集会を含む抄録集の閲覧については、学会誌編集委員会前キャビネットより引継ぎ保留されているJ-STAGEなどへの電子データベース化や、ホームページの改築の動きと合わせて検討する。今期のうちに方向性を示すことを目指すとされた。

### 9. 次々年度学術集會長の選任について

第19回学術集会瀬戸大会長より、学術集会の準備を進めるにあたり、現在は次年度の大会長までの選任となっているが、会場の選定などの準備を進めるにあたり、次々年度の大会長までを選任することが提案され、本年の定時社員総会に向けて検討することとなった。

### 10. 医療安全調査機構「センター調査 C0169 個別調査部会」部会員の推薦について

眞嶋理事長より、医療安全調査機構の「センター調査 C0169 個別調査部会」部会員の推薦があり、本会理事の池亀俊美氏(榊原記念病院)を推薦したことが報告された。

WEB会議システムを用いた理事会は終始異状なく、議長は以上をもって、本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印する。

令和4年4月14日 一般社団法人 日本循環器看護学会 理事会

理事長 眞嶋 朋子 印

監事 瀬戸 奈津子 印